

視察報告書（案）

（報告者）

加茂市国際交流協会会長 齋藤 淳

加茂市役所総務課政策推進室長 小柳 貴之

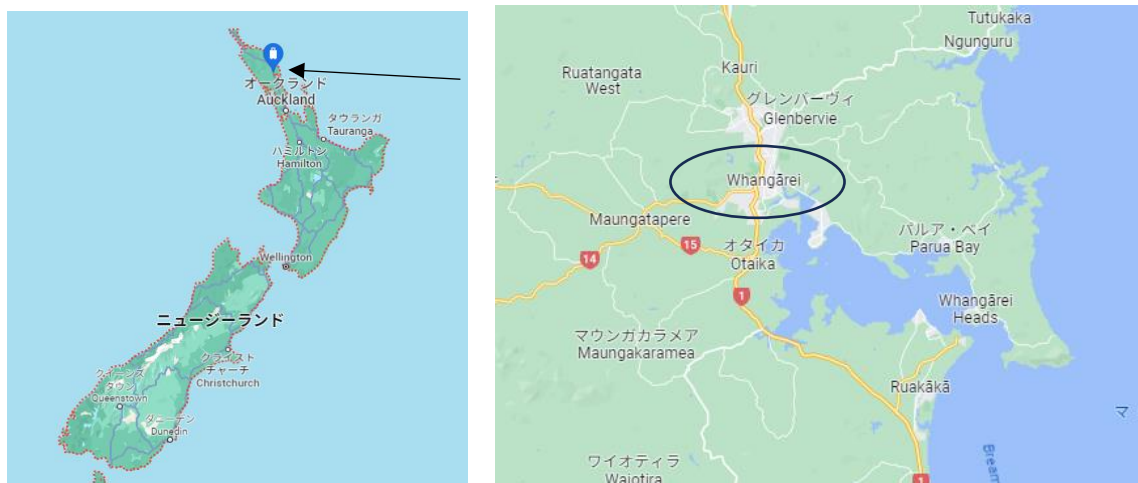
1 視察の目的

こども達の異文化体験・国際交流の推進を目的として、英語圏で教育交流ができる都市を調査・検討している。ニュージーランド、ノースランドにあるファンガレイという都市に、「Kamo」という地区がある。アメリカ・カナダ、イギリスと比較して費用面、移動時間等の条件が有利であること、30年ほど前に、同地区にある「Kamo Rugby club」から加茂市あてに交流の申込があったことから、同じ地名をご縁として交流できないか、教育交流が可能なのか視察するため、移動や所要時間、気候、学校を視察する。

2 場所

New Zealand, North land, Whangarei, Kamo

ニュージーランド・ノースランド、ファンガレイ市カモ地区



3 視察期間

2023年8月19日（土）から2023年8月24日（木）まで

4 調査事項

- 地理的な条件について（交通・移動について、気候について）
- 学校について（Kamo intermediate school, Kamo high school）
- 都市について（Whangarei, Kamo）

■ 地理的な条件について

教育交流を検討するにあたり、移動時間や時差がこどもの身体に大きな負担にならないか確認する

(ア) 交通・移動時間

- 時差は3時間（ニュージーランドが3時間進んでいる）
- 移動時間

〈往路〉

19日（土）JR 燕三条駅を12:39発の新幹線で出発し、20日（日）14:05 ファンガレイ空港に到着。（約22時間20分。途中オークランドで4時間ほど滞在）

〈復路〉

24日（木）オークランド市内のホテルを5:50に出発し、同日22:18に燕三条に到着。（約19時間20分）

	行 程			
往路	燕三条駅	→ 成田空港	→ オークランド	→ ファンガレイ
	(19日)12:39	18:30	(20日)8:00 13:25	14:05
復路	ファンガレイ	→ オークランド	→ 成田空港	→ 燕三条駅
	(23日)9:40	10:20	(24日)8:55 16:55	22:18

※時間は現地時間

(イ) 気候

南半球であるため、日本とは季節が異なる。

気温は、日中は15℃くらいまで上がるが、朝晩は5℃くらいまで下がる。朝夕の外出時はコート必要。

(所感)

長時間の移動による疲労や時差については、日中の活動に差し支える程度ではないと考える。

朝晩の気温は低いものの、積雪はなく研修や活動に差し支えるものではない。ただし、現地での活動を考慮した場合、8月は雨が多く天気も変わりやすいため、もう少し温暖な季節の方がさまざまな活動や体験に適していると思われる。

■ 学校について

教育制度について

ニュージーランドの学校の修業年限は、13年間である。小学校8年、高校5年または、小学校6年、中学校2年、高校5年のパターンがある。地域により異なるが、Kamo 地区は中学校がある。

図1.ニュージーランドの学齢

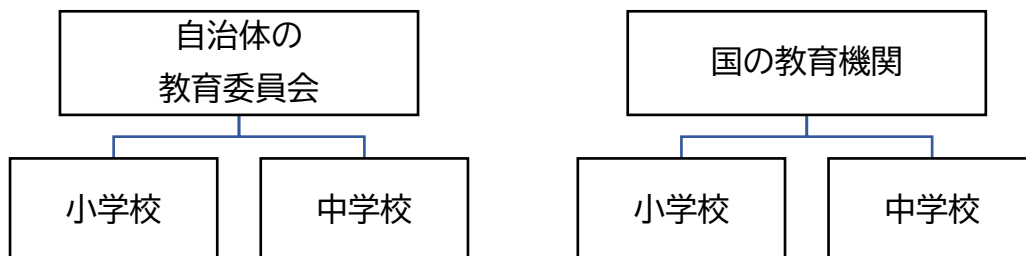
年 齢	学 年	学 校	
5	1	小学校	小学校 (地域で異なる)
6	2		
7	3		
8	4		
9	5		
10	6		
11	7	中学校	
12	8		
13	9	高校	
14	10		
15	11		
16	12		
17	13		

中学校を設置する目的は2つに分けると年齢差が大きくなるため、中間の年齢で環境を変え、スムーズに高校の環境へ適応できるようにする狙いがある。(校長先生)

図2. 行政と教育の関係

【日本】

【ニュージーランド】



(ア) Kamo intermediate school

学年7～8年生で11～12歳が在籍。生徒数は785人

□ 校長と面会

- ・ 日本との交流を検討しており、受け入れ先を探している
- ・ 訪問希望者は、7年生で18人、8年生で27人
- ・ 早い時期、できれば2024年から訪問を開始したい。時期は9、10月ごろ。
- ・ 日数は7日間程度を想定。うち5日間は学校での交流や加茂市内、2日間は東京などで観光したい。
- ・ 費用は生徒の親が負担する

□ 学校見学

- ・ 全体的に校舎は低層棟となっている
- ・ 技術・家庭（3Dプリンターを使った木工、手芸）、音楽（ギター、ドラム、ピアノ）
- ・ 校庭・遊び場（芝・ウッドチップ等で転んでも怪我をしないよう配慮）
- ・ 日本語のクラス、マオリ語のクラス、ハカの見学
- ・ 障がいがある生徒・精神面でのサポート（マンツーマンで実施）



学校の正面玄関



日本語のクラス



マオリクラスのハカの実演

(イ) Kamo high school

学年9～13年生で13～17歳が在籍。生徒数約1,000人。

□ 職員ミーティング

教職員に日本から視察に来ている件について報告

□ 校長と面会（非公式）

加茂市の紹介、訪問の目的（教育交流を始めるための視察）

2025年度に新校舎が完成する

□ 日本からの受入れ

- ・ 日本からも多くの高校生が留学している。（同志社高校、八王子実践など）
- ・ カリキュラム、ホームステイ、アクティビティなどがある程度確立され、期間に応じて費用も提示されている。

□ 学校見学

- ・ 全体的に校舎は低層となっている。
- ・ 図書館、体育館、木工クラス、ドラマのクラス（表現力を学ぶ）、トレーニングルーム、PCルーム、音楽室、マオリ語、美術室など幅広い分野を学ぶことができる。どの分野に重点をおくかは校長に委ねられている。
- ・ 保健室（障がいがある生徒・精神面でのサポート）
- ・ ランチ（基本は外で食べる、業者（subway）による提供、貧しい家庭への支援も行われている）



学校（校舎）



職員室



ランチ用広場



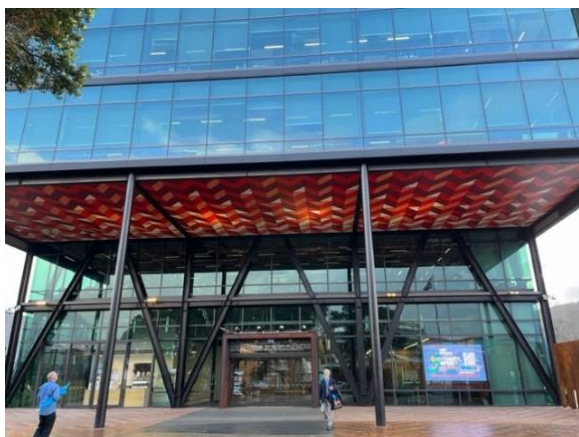
木工室

■ 都市 (Whangarei) について

- ・ Whangarei 市の人口は約 5 万人、うち Kamo 地区の人口は約 1 万人。
- ・ ノースランドのリゾート地。高い建物はなく、商店街、大きなスーパーなどの商業施設と寿司屋もある。校外には海が広がり、ラグビー場、羊が飼われている農場も見られる。
- ・ 建設されたばかりの市役所庁舎 (写真 1)、Whangarei 市議会 (写真 2) ニュージーランドの地方都市では、市長が議長を兼ねる一元代表制。
- ・ 市長、Vince Cocurullo さんが対応 (写真 3)、加茂市の訪問の目的を伝えるとともに、Kamo との縁を説明。市長からは、将来的に姉妹都市となれるような幅広い交流ができるような関係づくりができるといいですね、とのコメントをいただいた。
- ・ 隣接する図書館 (写真 4) も市役所庁舎と同じタイミングで建替えられたもの。
- ・ キーウィ (鳥) を見学できる施設と隣接する歴史博物館 (写真 5) Whangarei 市の歴史や自然を学ぶことができ、加茂市の子どもたちにも訪問して欲しい施設。

(所感)

年齢によるものが大きいと思われるが、Kamo high school と比較して、Kamo intermediate school の生徒の方が親しみやすく、友好的な雰囲気がある。高校・中学校ともにマオリ語やその文化を学んだり日本語も学んだりできる等さまざまな授業があるので、どちらの学校でもいろんな経験や交流ができると思われる。



1. ファンガレイ市役所



2. ファンガレイ議会



3. ファンガレイ市長と記念撮影



4. 図書館



5. キーウィハウス、博物館